

バーコードラベル作成ソフトウェア LabelStar Pro V3.0 for Windows を開発。 新標準流通シンボル Databar に対応し、デザインの操作性も大幅に向上。

バーコードシステム開発のアイニックス株式会社(東京都目黒区大橋 1-2-6 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也)は、バーコードラベル作成ソフトウェア LabelStar Pro 「ラベルスタープロ」バージョン 3.0 for Windows を開発し、3 月 31 日より販売します。

LabelStar Pro は、国内外の主要なバーコード(17種)と2次元シンボル(9種)及び日本と米国の郵便バーコードを作成することができます。バージョン 3.0 の特長は、2010 年から使用される省スペース流通標準シンボル GS1 Databar (旧称 RSS) に対応していること、医薬品標準バーコード GS1 Databar コンポジット(旧称 RSS コンポジット)に対応していること、そして、Vista 対応と共に、大幅に操作性が向上していることです。

GS1 Databar は、従来の JAN コードに比べ最大 8 分の 1 のサイズにできる省スペースシンボルで、GS1 Databar Expanded は、有効期限やロット番号等の付加情報も入れることができます。したがって、今問題になっている食品の安全安心を実現するためには非常に有効です。また、GS1 Databar コンポジットは、GS1 Databar と 2 次元シンボル MicroPDF417 を合成したシンボルで、有効期限やロット番号等の付加情報を 2 次元シンボルで表示することにより、表示スペースの少ないアンプルやバイアル(小瓶)でも表示できます。

LabelStar Pro は、ラベルのデザイン機能、印刷データ作成機能、印刷ラベルの編集機能、および、他のアプリケーションソフトとの連携機能を持っています。したがって、どんな複雑なラベルでも簡単にデザインでき、表形式のデータ画面に入力されたデータに基づいて連続的にラベル印刷できます。また、プリンタの解像度に合わせてバーコードを作成する機能により、高精度のバーコードを印刷することができます。

有効期限やロット番号等の情報を含んだバーコードを作成する場合は、通常、バーコードデータ情報とその下のバーコード目視文字情報を作成すると共に、必要に応じて表記文字情報を作成します。しかし、LabelStar Pro では、表記文字情報からリンク機能により自動的に目視文字情報を作成し、次に、これから取り除き文字機能により不要な括弧を自動的に取り除いてバーコードを作成できますので、データ作成が容易になると同時にデータ作成ミスによる事故を回避できます。

LabelStar Pro バージョン 3.0 の標準価格は、68,000 円(税別)で、バーコードプリンタ用の専用ラベル作成ソフトウェアの半額以下になっています。また、従来のバージョンをお持ちのユーザに対しては 28,000 円でバージョンアップサービスも提供します。本製品は、直販、代理店、流通チャネルによる販売の他に、プリンタメーカーへのライセンス提供により、初年度 3000 ライセンスの販売を計画しています。



(01)04912345678904

Databar



(01)04912345678904

Databar Stacked



(01)04912345678904

Databar Limited



(01)04912345678904(17)011231

Databar Expanded



(01)04012345678901

Databar コンボジット



バイアルのラベル例



食肉のラベル例



LabelStar Pro のデザイン画面